

性犯罪被害と「歩きスマホ」の関係

～イヤホン装着、歩きスマホが犯罪被害の要因に・・・～

●「京都府警察犯罪抑止対策調査研究会（性犯罪対策研究部会）報告書(2015)」によると、道路上の面識なし強行犯（強姦・強制わいせつ）の被害にあった被害者 129 名中

- ・ 29名(22.5%)・・・イヤホン装着中の被害
- ・ 18名(14.0%)・・・携帯電話・スマホの画面を見ながらの被害
- ・ 6名(4.7%)・・・携帯電話・スマホの画面の通話機能利用中の被害



と、歩行中のイヤホン装着、携帯電話・スマホの利用（ながら歩き）が犯罪被害の大きな要因になっている実態が示された。

「スマホの画面に夢中になっていると、近づいてくる不審者に気づくこともできず大変危険！！」ということが、数字の上からもわかる。

●カメラの小型化やスマホの普及により全国で盗撮被害が増え続けている。警察庁によると、盗撮を理由に全国の迷惑防止条例違反で検挙された件数はこの 10 年間で「1087 件 → 3625 件」と約 3.3 倍に増えた。



昨年の検挙件数のうち、スマホによる被害が64%で

歩きスマホをしていると、盗撮にも気づきません！

最多。小型の隠しカメラも10%に上っている。最近はフックや時計などの日用品に仕込んだカメラが売られるなど、偽装の手口も巧妙化している。（参考：10/19 毎日新聞）



油断が隙を生み出す！！

※自転車に乗ってのスマホ等の使用も
道路交通法に違反します！！